

議員派遣結果報告書

1	名 称	第51回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会
2	場 所	鳥取県立生涯学習センター、鳥取市人権交流センター
3	期 間	令和8年8月4日（火） 1日間
4	内容・成果	<p>第51回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 テーマ：「人権尊重社会の実現に向けて、研究と実践を交流しよう」</p> <p>1. 講演：認知症になって自分らしく ～本人の声から（新しい認知症観の探求）～講師： 藤田 和子 さん</p> <p>●今回の講演を通して、「認知症は誰にでも起こりうる身近な課題である」ということを改めて認識いたしました。自身の状況を隠すことなく向き合い、前向きに生きていく姿勢、そして同じ志を持つ仲間と共有しながら課題解決を図る重要性が強調されました。</p> <p>どのような状況にあっても地域社会で安心して暮らし続けられること、一人の人間として尊厳と人権が守られることは、誰もが自分らしく生きるうえで欠かせません。講義を通じて強く実感させられる点が数多くあり、大変意義深い講演となりました。</p> <p>2. 午後：第3分科会（第1分科会）「共生社会の創造」</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演：「10年後の自分を想像して」 ～大好きな地域で支え合うために～ <p>●講演では高齢者問題（免許返納等による交通弱者問題）が取り上げられ、病院や買い物の移動に苦慮する声を受けてスタートした「てごてごあがた」の事例が紹介されました。</p> <p>実際に病院や買い物で利用されている方々のお話を聞くことができ、大変勉強になりました。私たちの地区でも同様の問題に直面している地域があります。ドライバーの確保や事業の継続が難しく断念するケースも多い中、活動を継続されていることに深く感銘を受けました。</p> <p>これからも地域で困っている方にしっかり寄り添っていくことの重要性を、改めて実感いたしました。</p> <p>3. 部落解放鳥取県共闘会議の取り組み</p> <p>●労働組合においても解放運動に取り組んでおり、その成果として少しずつご理解をいただいている実感はあります。しかし現実には、今なお部落差別が存在していると感じざるを得ません。同じ一人の人間である以上、差別は決して許さ</p>

		<p>れるものではありません。</p> <p>現在の社会においても、教育から就労に至るまで様々な課題が存在しますが、人権侵害は断じてあってはならないことです。一人一人が今一度自覚を持ち、差別のない社会の構築に向けて取り組んでいく必要があると強く感じました。</p> <p>●総括として、現実は見えないところで人権差別が存在していると実感させられる一日でした。一人一人が少しでも相手の立場に立ち、「いけない事は正していかなければいけない」と実感しました。誰もが住みやすい社会になるよう、微力ながら自分にできる支援を続けていきたいと考えました。</p>
--	--	--

提出期限 令和8年8月18日（火）まで